



御堂筋を世界一きれいな
空気のストリートへ！

（物流が街を変える）

入場
無料

ecoro

「大阪が世界最先端！御堂筋トラック物流 グリーン化シンポジウム」の開催

開催日時 平成27年3月6日(金) 13:30~17:00

開催場所 大阪市中央公会堂 大集会室 (大ホール)

大阪のメインストリート御堂筋。その御堂筋を世界に誇るスーパークリーンロードに
すべく天然ガストラックなどの環境にやさしいトラックの普及を促進し、「きれいな
空気」と「健康・安心・安全」な御堂筋を目指します。

環境・物流・自動車・街づくりに関するスペシャリストが大阪に集結！



フランス天然ガス自動車協会会長
フランス・ボルボ・グループ最高広報責任者
フランス国輸送関連産業指導委員会委員長
レジオン・ドヌール勲章 シュバリエ勲章 メリット勲章受章

ジャン・クロード・ジロ 氏

フランスにおいて、環境・健康への関心が高まる中、「市民の健康を守る」を標榜して
荷主と運送事業者による環境・健康に良い天然ガストラック配送を積極的に推進。
現在、フランスではさらに公共輸送分野の急速な天然ガス化が進んでおり、昨年には、
パリ市が「2020年におけるディーゼル車全面廃止規制案」を発表するなど活
発な動きがでています。こうした世界の動向や、都市内輸送の先進的な取り組み等
をフランスよりジロ天然ガス自動車協会会長をお招きしてご発表いただきます。



建築家・元日本建築家協会会長

出江 寛 氏



景観デザイナー・ランドスケープアーキテクト

二見 恵美子 氏



日経エネルギーNext編集長

山根 小雪 氏

大阪が世界最先端!御堂筋トラック物流グリーン化シンポジウム 開催概要

開催日時 平成27年3月6日(金) 13:30～17:00 **開催場所** 大阪市中央公会堂 大集会室(大ホール)

交通アクセス 地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車①番出口から徒歩約5分
京阪電鉄「なにわ橋」駅下車①番出口から徒歩約1分

主催:御堂筋エコロード推進協議会 トラック物流グリーン化促進部会
共催:国土交通省・大阪府・大阪市・近畿スマートエコ・ロジ協議会・大阪ガス(株)
後援:船場げんきの会・御堂筋まちづくりネットワーク・公益社団法人全日本トラック協会
一般社団法人大阪府トラック協会・一般財団法人環境優良車普及機構・一般社団法人日本ガス協会
天然ガス自動車フォーラム・天然ガス自動車アカデミー他を予定



式次第(予定)

- 主催者挨拶 _____ 御堂筋エコロード推進協議会会長(立命館大学院教授) 石田 修一 氏
- 挨拶 _____ 大阪府副知事 小河 保之 氏
- 挨拶 _____ 大阪市副市長 田中 清剛 氏
- 基調講演(大阪の取り組みへの期待) _____ 国土交通省 国土交通審議官 武藤 浩 氏
- ゲスト講演(世界の情勢) フランス・パリ市の取り組み — フランス天然ガス自動車協会会長 ジャン・クロード・ジロ 氏
- 取り組み紹介 _____ (株)ワールドサプライ執行役員 日山 欣也 氏
大規模小売事業者 物流責任者(調整中)
- 有識者対談(世界に学ぶ・世界に誇れる大阪の取り組みに向けての提言) _____
[コーディネーター] 日経エネルギーNext編集長 山根 小雪 氏
フランス天然ガス自動車協会会長 ジャン・クロード・ジロ 氏
建築家・元日本建築家協会会長 出江 寛 氏
景観デザイナー・ランドスケープアーキテクト 二見 恵美子 氏
株式会社エコトラック代表取締役 池田 雅信 氏
- まとめ及び閉会挨拶 _____ 御堂筋エコロード推進協議会会長 石田 修一 氏

御堂筋エコロード推進協議会 御堂筋トラック物流グリーン化シンポジウム事務局 行

大阪が世界最先端!御堂筋トラック物流グリーン化シンポジウム 参加申込書

下記必要事項を記入の上、FAX・メールにてご返送ください。

■ご所属団体名	
■ご住所(〒 _____)	
TEL: _____	FAX: _____
■ご担当者氏名	
■ご担当者連絡先	
TEL: _____	FAX: _____
■シンポジウムご参加者氏名 ※複数名ご参加の場合は下記に参加される方のご記名をお願いいたします。(ご担当者除く)	
	氏名
1	
2	
3	
備考	

返送先FAX番号 **06-6543-6295** メールアドレス **a.kankou@kankouken.org** お申込み締め切り **平成27年2月27日(金) 必着**
※シンポジウム当日は本申込書又はお名刺を受付時にご提出いただきますようお願い申し上げます。 ※ご記入いただきました個人情報、本目的以外へは一切使用いたしません。

問い合わせ先

06-6543-6291 (事務局/公益財団法人 関西交通経済研究センター)